

本時のねらい

・班で練習してきたことや、今までの目標や振り返りを生かし、試合の中で、空いたスペースにパスを使い分けて出せるようになる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・前回の動きや改善点などを作戦ボードにおいて確認する。
・目標や振り返りを記入した作戦ボードを「発表ノート」の機能を使って回収し、教員がそれぞれのチームの作戦会議の内容を把握・記録することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・まなびポケット「発表ノート」機能

本時の展開（全6時間計画：5時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶をする。 ○準備運動 ○本時のめあてと流れを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にタブレットを起動し「発表ノート」を開く。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○班に分かれて作戦会議をする。 ・タブレット端末は班に1台を使用する。データは全員に配付する。 〈作戦例〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール前はパスを短くつなぐ。 ・Aがディスクを持ったらBが走ってロングパスを投げる。 ・Cがおとりになって走り、空いたスペースに他の人が走りこむ。 ○チーム練習をする。 ○ゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発表ノート」に班で決めた作戦目標を記入する。 ・前時までに記入した全班の作戦目標のデータを自由に見られるように、共通のフォルダに保存しておく。 ・作戦目標を達成するためにどのように動けばよいのか、タブレットの【作戦ボード】を使って意見の交流を行う。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りをする。 ・作戦会議で立てた目標が達成できていたかを班で振り返り、全体で発表する。 ○整列・挨拶・片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発表ノート」に振り返りを記入する。

1人1台端末を活用した活動の様子

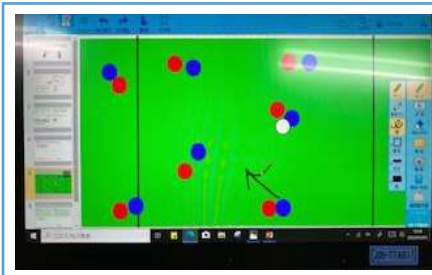


写真1：「発表ノート機能」の作戦ボードの画面



写真2：作戦会議をしている様子



写真3：試合後に目標を振り返る様子

児童生徒の反応や変容

・前時に自分たちの班が記入した「発表ノート」の振り返りを見ながら、本時の作戦目標を立てることができた。また、他の班の作戦目標や振り返りを共有のフォルダにデータ保存しているため、参考にしながら意見交流をすることができていた。
・作戦を立てる時に「発表ノート」で作成した【作戦ボード】を使ったことで、動くイメージが可視化され、説明がしやすい様子だった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・目標や振り返りを記入する生徒が毎回同じ人にならないよう、ローテーションし、全員が会議に参加できるようにしている。
・活動時間を確保するため、キーボードではなくタッチペンを使用している。
・「発表ノート」機能を使うことで、プリントを回収することやホワイトボードの写真をとることなく、毎時間すべての班の記録や作戦ボードを確認できる。